No.	時間	映像内容	ナレーション
1	0;00;00	小学5年生 理科 小単元 「水の流し方を変えて 流れる水の働きを調べよう」	
2	0;00;07	目的 防災教育の授業の流れと使用する 教材を理解する ( パ学5年生理料 小場元 「永の演し方を要えて流れる水のはたらきを関べよう」)	この動画では、小学生 理科「流れる水のはたらき」での実際の授業を例に 防災教育の授業の進め方をご紹介します
3	0;00;20	動画の構成	この動画の流れは次の通りです 今回例とする実験を含む小単元の位置づけを確認した後、実験と防災教育の関係に注目して 実際の実験の進め方と各シーンで使用する教材の使用例を見ていく構成です
4	0;00;43	● 今回例とする実験を含む小単元の位置づけにつりた 単元「流れる水のはたらき」の第3次における実験を今回の例とします 第1次 売れる水が地面を どうまえるのか (3時間) 第3次 が成し方を見て 様子を表えるのか (4時間) 第4次 (3時間) 第4次 が成したを見て (3時間) はたらきを書くよう (3時間)	今回は4部構成の単元「流れる水のはたらき」の第3次「水の流し方を変えて流れる水のはたらきを調べよう」の実験を中心に 防災教育の実践方法を見ていきます
5	0;01 ; 02	<ul> <li>今回例とする実験の位置づけについて</li> <li>小単元全体で学ぶことの理解を助ける</li> <li>災害に関する現象を体感し、防災と 結び付けて学べる</li> </ul>	今回例とする実験では、小単元全体で学ぶ内容の理解を助ける他に、防災教育の一環として取り組むことで 災害に関する現象を体感しながら防災と結び付けて学ぶ役割が期待されます
6	0;01 ; 21	● 実験の構成 【準 備】【実 施】【まとめ】	今回は、実験を【準備】・【実施】・【まとめ】として整理し、防災教育の関係に注目して順にみていきます
7	0;01;34	準備 1. 自然災害から現象を考える  ● 土砂崩れが起きた場所の特徴  一土地の傾きが大きい  ● 洪水が起こった時の特徴  一水の量が多い時	始めに、自然災害がどのような地形・条件の下で起こりやすいか、これまでの学習をもとに児童から意見を挙げさせます ここでは、土地の傾きと水の量について考えます
8	0;01 ; 52	準備 1. 自然災害から現象を考える <演绎の使用例: 数4度の台風と天気の変化、身近な地域の川の写真>  (	この時、山と平地の違いで考えさせたり
9	0;01 ; 57	準備 1. 自然災害から現象を考える <資料の使用例: 数特費の台風と天気の変化、身近な地域の川の写真> ■ 川内川の普段の様子と大雨の時の様子 大雨の敵の様子 大雨の敵の様子	平常時と大雨の時の川の違いで考えさせる等して、児童が身近な自然現象から現象の特徴を考えられる働きかけをします
10	0;02;10		次に、めあてを確認します 本小単元では、全体で1つのめあてを立て、実験を通して様々な問い掛けを考えていきます
11	0;02;25	本	めあてを基に、調べる条件と同じにする条件についての話し合いを十分行い、条件制御の視点を明確にして実験方法を考えさせます そして、条件を①②のように設定します
12	0;02;47	<ul> <li>準備</li> <li>3.実験の実施方法を考える</li> <li>● 水の流れる地形 ほぼまっすぐ・S字(カーブ)</li> <li>● 観察する視点 水の様子・土の様子</li> <li>実際の自然現象をスケールダウンしていることを意識させる</li> </ul>	また今回の実験では、水の流し方を2種類に変化させて実験します 水の様子や土の様子を詳しく観察するとともに、実際の自然現象をスケールダウンしていることを意識させて現象を体感します
13	0;03;08	実施 4. 現象の体盤 ① ほぼまっすぐな流れ	それでは、実験実施の様子を見てみましょう 実施の際は、これまでに確認した実験の計画を基に条件を設定しながら進めていきます

No.	時間	映像内容	ナレーション
14	0;03;22	② S字(カーブ)の流打	流れる水の速さ、地面の土の様子、カーブの内側と外側の土の削られ方、土の積もり方等について 先生が適宜問いかけ、観察していきます
15	0;03;39	実施 4. 現象の体感 防災との結びつき	また、「このような現象が河川で起きた時にどうなるか、その現象を何と呼ぶか」等を問いかけ 実際の地形や河川の流域をスケールダウンして実験を実施していることを意識させるように働きかけます
16	0;03;58	実施 4. 現象の体密  < 教材の使用例  > C 教材の使用例  A C T	なお、今回使用されていた実験器具についても、公開されている資料を参考にして準備することができます
17	0;04;10	まとめ 5. 実施結果の考察  ● 結果からどんな事が言えるか  <めあて> の再確認  土地の傾きや川の水の量の違いによって、 流れる水のはたらきはどう変わるのだろうか	次は結果の考察です 振り返りを行った後、実験の実施結果を児童に発表させます また、初めに設定していためあてを再確認し、問いの解答を導き出します
18	0;04;29	まとめ  5. 実施結果の誘  < 資料の使用例 >	この時、板書計画を参考に、穴埋め形式で板書を示すなど、児童の発言を促しながら問いに対する解答を黒板に整理していきます
19	0;04;44	まとめ 6. 今家結果を実際の河川の株子に当てはかで今先る  ● 身近な地域の地形について  ● 雨天時の川はどうなるか	こうして学習した水の速さや量と流れる水のはたらきの関係を、写真や立体地図などと比べながら 実際の河川の様子に当てはめて考えさせます
20	0;04;59	まとめ 6. 考察結果を実際の河川の様子に当てはめて考える  「川の上流に雨が降ったら?」  一川の水が増える  「川の水が濁っていたら?」  一流れが速くなって土が削られている	この時、学んだ事と防災を関連づけるような質問を投げかけ、雨天時は川から離れる等の防災の視点を持てるように働きかけます
21	0;05;12	まとめ 7. 川との付き合い方を考える 防災の取り組みや 環境に配慮した川づくり	川の危険だけでなく、最後は川がもたらす恩恵についてもおさえ、川との付き合い方について学ぶ予告をして締めくくります また、今回取り上げた様な実験を中心とした授業の他にも、様々な理科の学習と防災教育は関連付けられます
22	0;05;35	The state of t	いかがだったでしょうか、国土交通省 防災教育ポータルでは 今回ご覧いただいたような、授業の事例で使用された各種資料は教材集ページ
23	0;05;50	DO DE DE LA COMPANION DE LA CO	授業に活用できる様々な資料は素材ページ
24	0;05;56	THE CONTROL OF THE CO	防災教育の手引きとなる資料は手引きページ
25	0;06;01		最新の取り組み等はトピックスから閲覧いただけます
26	0;06;07		他にも、防災教育ポータルでは 防災教育を行う際に参考となる資料を多数掲載しています ぜひご活用ください